

手城学区まちづくり推進委員会

委員長 田中 恭治

（問合せ先） 084-931-4009（手城交流館）

事業内容

- (1) てしろっ子支援事業（わくわくキッズ 中止，ハッピーランド10回（第4水曜日））
- (2) 少年少女親善球技大会（7月3日）
- (3) ふれあい学習会  
（料理教室 7月14日・9月29日・12月10日，スマートフォン教室 7回  
いきいき百歳体操 45回（毎週火曜日），すこやか健康体操 3月4日）
- (4) 茶道教室（あんずこども園 18回・手城保育所 1回・手城幼稚園 中止）
- (5) 手城学区民グラウンドゴルフ大会（5月15日）
- (6) 高齢者と幼児の福祉の集い（中止）記念品は配布
- (7) 安心・安全のまちづくり事業（子ども見守り活動）（通年）
- (8) 広報紙発行（年2回）
- (9) コミュニティ育成（通年）
- (10) 地域の環境づくり並びに健康づくりに取組む事業  
（環境啓発ポスター 8月，クリーンウォーキング大会 11月6日）  
ボランティアによる草刈り作業実施（通年）
- (11) まちづくり推進委員会運営会議（随時）
- (12) てしろばら祭（5月 9日～14日まで分散開催）  
竹あかり（8月27日～31日まで分散開催）
- (13) ふれあい大会（中止）
- (14) 地域伝統文化の継承と創造（とんどの作製・練り歩きなど）  
福山城築城400年記念時代行列・福山とんど祭りへ参加（1月9日）  
手城学区とんど祭 火入れ式・練り歩き（1月15日）  
とんどは中央公園・JA福山市手城支店へ展示
- (15) 安心・安全のまちづくり事業（防災事業）（中止）

てしろばら祭  
分散開催をしました



ハッピーランド  
パネルシアターで  
楽しいひととき

手城学区とんど祭  
学区内を練り歩きました



## 成果

新型コロナウイルスの影響が残る中、少しずつ行事を行って地域の繋がりを取り戻すことができればと願い新規事業として「手城学区竹あかり」を実施した。

また、てしろばら祭（分散開催）やクリーンウォーキング、すこやか健康体操等の行事を行うことができた。それぞれの行事へ、大勢の地域の皆さんにご参加いただき、地域行事の大切さ、重要性を実感した。

## 課題

新型コロナウイルスの制限がなくなり様々な行事を行うことができるようになったことに伴い、以前通りではなく新しいことへの挑戦・取組を考えていかなければならない。

団体役員のスリム化を図っていくことが必要。

## 課題解決にむけて

行動制限がされていたことにより、変わってしまったこともたくさんある。新しいことを柔軟に取り入れながら、進んでいかなければならない。

新型コロナウイルスの感染がなくなったわけではないので、注意すべき事をないがしろにしてはならない。

## 手城学区 未来へつなげる手城の絆「竹あかり」



【優しい灯り】

竹あかり



【幽玄な尺八の響き】



【暑い中頑張りました】

「竹」は日本では古くから身近な道具、生活日用品として重宝されてきました。SDGs が掲げる持続可能な目標の達成に向けて『脱プラスチック』が大きな課題となっている今、注目を集めているのが耐久性にすぐれ再利用に適している「竹」なのです。

そこで、新型コロナウイルスの影響で、夏の思い出が少なくなった子どもたちにも楽しめるように「竹あかり」を実施しました。たくさんの地域の皆さんに夕涼みのひと時を過ごしていただき、大変好評でした。

